

# 第4学年 英会話科学習指導案

平成29年11月9日(木)

## 1 単元名 Let's write Alphabet. (E-タイムW)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、毎日9分間のE-タイム、毎週1回のE-タイムLの時間を通して毎月のスキットを中心とした「聞く」「話す」の学習活動に充分に取り組んできた。英会話科において友達と会話をする機会を多くもってきたことで生活の中でも男女問わず仲良く話したり、活動したりしている。英語を「聞く」「話す」ことに関しては、E-タイム・E-タイムLにおいて子ども達が想起しやすい身近な場面を設定し、活動を行わせることで、意欲的に取り組むことができている。また、日常生活において、話したい英語をプラスして話そうとする姿も見られる。英語を「読む・書く」ことに関しては、(図1)を見てみると「読みたい」「書きたい」という意欲的な児童が多く、興味・関心の高さが分かる。E-タイム・E-タイムLの中で「英単語を写して書きたい」「単語を書いてみたい」という声も出ており、週に一度のE-タイムWでアルファベットの学習を楽しんでいる。高学年の英語にもつながるこのアルファベットに関する興味・関心をさらに高められるよう手だてを構築し、意欲的にE-タイムWに取り組ませていきたい。

<図1省略>

#### (2) E-タイムWについての意図

本校では、「読む」「書く」活動に集中して取り組むE-タイムWを週に1回設けている。第4学年では「アルファベットの大文字を書くことができる」、第5学年では「アルファベットの小文字を書くことができる」、第6学年では「英単語を書くことができる」という段階で指導していく。本単元では、児童がアルファベットの大文字と小文字を識別して読んだり、書いたりする活動を行う。年間を通して、大文字を2つずつ提示し、文字にふれさせていく。

児童は、E-タイムやE-タイムLで使う単語カードを通して低学年のときからアルファベットに触れている。第3学年では、「フォニックスアルファベットソング」を歌わせ、アルファベットの文字と発音のつながりにふれさせてきた。また、国語の「ローマ字」の学習との関連を図ったことで、アルファベットの一つ一つが集まって英単語になっていることを認識できるようになった。それを受け、第4学年では、児童の文字認識を深めるため、体や指で表現させたり、歌を歌わせたりし、アルファベットの文字と発音が一致することを意識できるようにしてきた。1学期には、「A」～「Z」まで一通り学習が終わり、2学期からは、アルファベットを学習する過程において、「聞く」「話す」と「読む」「書く」を関連させた学習展開を設定してきた。本校のアルファベットの学習の系統性を考えて、本単元では、単語カードにあるアルファベットを活用し、「読む」「書く」活動を行っていく。アルファベットの形の特徴を捉えることができるような活動を取り入れ、文字認識を深めさせ、さらに、身の回りの英単語への興味・関心も高められるように、活動の展開の工夫を図っていく。

3 研究主題との関連

研究主題 『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』

～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～

◎文字に触れる場面を多く設定すれば、児童が自然に読んだり、書いたりできる力が育つであろう。



【読む・書く】

EW：○児童が身近に触れている単語を示す。  
○「聞く」「話す」と「読む」「書く」を関連させた学習展開から発音、文字認識を踏まえた書く活動を設定する。

4 単元計画

(1) 「読む」「書く」の系統性

	アルファベット大文字	アルファベット小文字	単語	文
低学年	・授業や掲示物で文字にふれる場面を多くもつ。			
中学年	・アルファベットの大文字を識別することができる ・アルファベットの大文字を読むことができる。「A」(エー)	・アルファベットの小文字を識別することができる ・アルファベットの小文字を読むことができる。「a」(エー)		
5年	・読むことができる。 ・書くことができる。		・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を読むことができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができる。	・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を並び替えて文をつくることができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な文を書き写すことができる。
6年	・読むことができる。 ・書くことができる。	・読むことができる。 ・書くことができる。	・単語を読むことができる。 ・単語を書き写すことができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を聞いて書くことができる。	・単語を並び替えて文をつくることができる。 ・スキットの表現を書き写すことができる。 ・簡単な文(単語数：3～4)を聞いて書くことができる。

(2) 目標及び評価規準

観点	単元目標	単元の評価規準
読む	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、簡単な単語を読むことができる。	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、簡単な単語を読むことができている。
書く	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、簡単な単語を書くことができる。	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、簡単な単語を書くことができている。

(3) 指導と評価の計画

	1週	2週	3週 (本時)	4週
週 の 目 標	<p>・アルファベットの大文字と小文字を識別し「L」と「G」を書くことができる。【書く】</p>	<p>・アルファベットの大文字と小文字を識別し「M」と「D」を書くことができる。【書く】</p>	<p>・アルファベットの大文字と小文字を識別し「Y」と「W」を書くことができる。【書く】</p>	<p>・アルファベットの大文字と小文字を識別し「A」と「U」を書くことができる。【書く】</p> <p>・アルファベットの大文字と小文字を識別し読むことができる。【読む】</p>
	あいさつ ・ “ABC Song”			
E   タ イ ム W	<p>○Practice</p> <p>・補充語句 (文房具や日用品)</p> <p>○Today's big Alphabet?</p> <p>・本時のアルファベットの形のクイズ</p> <p>・「L」・「pencil」</p> <p>・「G」・「glue」</p> <p>○Let's writing!</p> <p>・「L」と「G」を4線に書く活動</p> <p>【書】(ワークシート)</p>	<p>○Practice</p> <p>・補充語句 (文房具や日用品)</p> <p>○Today's big Alphabet?</p> <p>・本時のアルファベットの形のクイズ</p> <p>・「M」・「mine」</p> <p>・「D」・「dictionary」</p> <p>○Let's writing!</p> <p>・「M」と「D」を4線に書く活動</p> <p>【書】(ワークシート)</p>	<p>○Practice</p> <p>・補充語句 (文房具や日用品)</p> <p>○Today's big Alphabet?</p> <p>・本時のアルファベットの形のクイズ</p> <p>・「Y」・「dictionary」</p> <p>・「W」・「Whose」</p> <p>○Let's writing!</p> <p>・「Y」と「W」を4線に書く活動</p> <p>【書】(ワークシート)</p>	<p>○Practice</p> <p>・補充語句 (文房具や日用品)</p> <p>○Today's big Alphabet?</p> <p>・本時のアルファベットの形のクイズ</p> <p>・「A」・「Alphabet」</p> <p>・「U」・「umbrella」</p> <p>○Let's writing!</p> <p>・「A」と「U」を4線に書く活動</p> <p>【書】(ワークシート)</p> <p>【読】(観察)</p>
	ふり返し・あいさつ			

5 本時の展開（第3週）

(1) 目標

- ・アルファベットの大文字と小文字を識別し「Y」と「W」を書くことができる。【書く】

(2) 展開

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点（・指導 【評価】）
1'	1 あいさつをし、 “ABC Song” を歌う。	・あいさつ ・アルファベットソング	・あいさつとともに、いくつかの質問をし、既習の内容の定着を図る。 ・“ABC Song”は黒板に提示した文字を見せ、音声との一致を図る。
	2 本時のめあてを確認する	アルファベットの形を意しきして読んだり、書いたりしよう。	
2'	3 アルファベットの読み方を練習する。	・単語の読み方 ・単語の頭文字	・アルファベットのイントネーションやリズムも意識して行うように意識させる。 ・大文字と小文字の違いがイメージできない児童の為に、アルファベットカードを用意して置く。
2'	4 本時のアルファベットを教師が話すヒントから連想して答えを発表する。	・形による文字認識	・教師のヒントはアルファベットの形や児童が知っている身の回りの物との関連を図る。 ・E-タイムパスポートに貼ってあるアルファベット表を手掛かりにして良いことを助言する。
3'	5 教師が4線に書いたアルファベットを見ながら、4線カードに書く。	・アルファベット「Y」と「W」 ・4線上へのアルファベットの書き写し	・4線の上から3本目の線を意識させて正しく書くようにさせる。 【書】アルファベットの小文字と大文字を識別し、「Y」と「W」を書くことができている。（ワークシート）
1'	6 本時の学習をふり返る。	・本時のねらいに沿ったふり返り	・本時で学習したアルファベットが使われている英単語は何かを児童に質問して、今後のアルファベットの学習につなげる。